

真夜中の歩道橋撤去工事 切断機じゃないんだ！ こんな工事はめったに見られない

今週の活動から



1月20日
毛利台老人憩の家
で新春交歓会がありました。
利用者が90人も集まり
楽しく懇談し



ました。
釘丸久子議員
第59回あつき駅伝大会
が1月27日荻野運動公園
をスタート地点に開催。
82チームが参加。地区
対抗の優勝は小針Aチ
ームでした。
栗山香代子議員

2月の法律相談は

2月26日(火) 14時～

事前の連絡をお願いします。

中央公園西側交差点改良工事

工事費総額	5000万円
厚木市	3500万円
神奈川県	1500万円
工事期間	1月10日～2月28日



三台のバックホウにアタッチメント（恐竜のくちばし）をつけ、挟んで、引っ張り、引き剥がす



歩道部分の鉄板が落ちました。これでやっと半分

歩道橋を撤去して、バリアフリーにし、歩車分離式にしてほしいとの市民の声は何年も前から出ていました。議員団も毎年予算要求していました。県道と市道が交差していること、信号の変更は警察の管轄ということで三者の話し合いが続いていましたが、長年の市民要望が実現しました。

完成後は、歩車分離式の信号と、周辺の通行方法（車線増、右折禁止、一方通行など）の変更が行われます。

歩道橋撤去工事は橋部分で二日間、橋脚と階段部分で三日間かかりました。全体の工事は2月末で完成する予定です。

工事を見て、労働者の大変さを肌身で感じました。



4方向に取り付けられた信号と横断歩道。完成後は歩車分離式に

議員団では、市民から要求が出されていたこの工事が、どのように行われるかと、1月23日（水）の夜中に（24日にかかっていました）、工事中の現場を見に行きました。小雨の降る寒い、寒い夜でした。

11時40分頃に着くと、1・5m×6mの鉄板を一枚一枚クレーンから降ろし、敷き詰めていきます。大型の工事車両が入るのので、道路を保護するためです。

橋の撤去は原始的でした

中央公園西側交差点の改良工事が着々と進んでいます。歩道橋を撤去して、歩車分離式の交差点に改良するものです。

重機の名前は「バックホウ」。その先端に恐竜のくちばしのようないアタッチメントをつけて、挟み込み、引き剥がす。極めて原始的な作業です。まず、手すりを壊し、歩道部分をつかみまわす。三台のバックホウで、ゆすりながら歩道部分を徐々に下に引っ張っていきまわす。斜めになったところで左右の継ぎ目をはずすのですが、切断機のようにスパッと切れません。くちばしを斜めにしたり回したり、ユツサユツサと上下に振りまわします。ちぎれた鉄片がバラバラと下にこぼれ落ちます。地面の振動もかなりありました。付近の人々はこれが一週間にかかって連日行われるのですから、寝不足になったことでしょう。